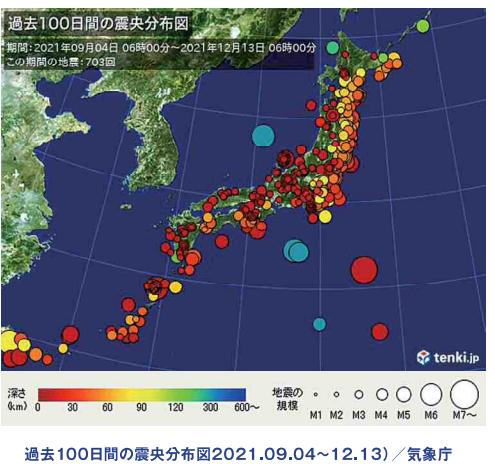


川崎市からのメッセージ

2019年末に確認された新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中へ拡散しました。人々の暮らしは、巣籠りや移動・対面交流の制限により激変し、一日中自宅で過ごす人が増え、人と人の結びつきが希薄化し、孤立と分断が顕在化しました。一方、DXによる仕事や学習、買物等の新たな社会とのつながり方が浸透し、コロナ禍の暮らしの変化に適応して市民生活が変わってきました。

近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化するとともに、M7程度の首都直下型地震が、70%の割合で今後30年内に発生することが予想されています。本市では、これまで積み重ねてきた防災・減災の取組にDXを取り入れ、災害対応力のさらなる強化に向けて総合防災情報システムを見直し、災害時の情報共有と意思決定の迅速化を図っています。私たちは、災害時に誰ひとり取り残されないまちの実現に向け、生活の場における人のつながりを基本としながら、新たにDXを活用、市民の皆様と行政、そして市民同士のつながりを拓げていき、災害時に強く韌やかな防災を目指します。



防災のこと、地域のこと、もっと知ろう。

つながろう

防災や減災に関連する様々な活動情報は、市役所の窓口やホームページ、SNS等を通じて紹介を行っています。気軽にお問合せをいただき、日常の中で様々な方法でつながり、一緒に取り組みましょう。



地域を探検しよう

川崎は、過去様々な災害に直面してきました。地域で生きる私たち自身が、様々な世代とともに自ら地域を歩き語り合い、問題を発見することが災害への備えに繋がります。



Webやアプリを活用しよう

災害時に役立つ情報が沢山あります。信頼のおける情報入手手段をお気に入りに追加して、安心の暮らしをしましょう。



(例) 気象庁HP
2021年10月7日22:41千葉県北西部で発生した地震の情報(第2報22:50)画面



自主防災組織・町内会

地域のお祭りや防災訓練など、地域の活動が掲載されています。みなさん参加してみませんか？



かわさき防災アプリ

洪水、土砂災害、津波などの危険区域を地図に示したハザードマップや、発令中の避難情報、避難所開設情報を地図で確認できます。



日本地名研究所

溝ノ口にある日本地名研究所は、地名研究を推進する唯一の全国組織です。地名からは、土地の成り立ちなど防災に役立つ秘密も隠されています。



かわさきFM

災害が起きた場合は、川崎市役所と連携して、身近な市内の災害情報、安否情報、ライフライン情報などを、臨時災害放送局として提供します。

号外!
第5号

備える。かわさき



コロナ禍の出来事

- 2020年1月15日 日本国において1例目を確認
- 2020年3月2日 国内の小学校・中学校・高校等の一斉臨時休業
- 2020年3月11日 WHOパンデミック宣言
- 2020年4月7日 第1回目の緊急事態宣言
- 2020年12月28日 全世界からの外国人新規入国一時停止
- 2021年2月17日 新型コロナウイルスワクチンの接種開始
- 2021年7月23日 1年遅れ、無観客での東京オリンピックの開幕
- 2021年10月1日 4月20日から続いたまん延防止等重点措置・緊急事態宣言(3回目)の解除

新型コロナウイルス新規感染者数の推移



カワサキ市民の皆さんに
コロナ禍の暮らしの変化を聞いてみました。

山田 和人(20歳)
職業：大学生
川崎歴：川崎生まれ川崎育ち、在住20年
趣味：旅、地域活動、サッカー
コロナ禍の生活：大学入学以来、オンライン授業で一度も学校に行ったことがない
緊急事態宣言で出社禁止なので、1日中家で仕事をしています！必要に応じてオンライン会議で全然OK！

網元 繁成(35歳)妻、小学生の子供2人
職業：東京本社のIT系企業企画部門勤務
川崎歴：金沢市生まれ、在住10年
趣味：プログラミング、babymetal
コロナ禍の生活：リモートワーク継続中。同僚とは1年以上対面で会っていない

梨本 華子(45歳)夫、幼い子供1人
職業：地元密着の企業勤務
川崎歴：川崎生まれ川崎育ち、在住45年
趣味：子供と散歩、防災NPO活動、キャンプ
コロナ禍の生活：リモートワーク継続中。頻繁にキャンプ。NPOの活動は止まっている

小林 茂(71歳)
職業：自営業
川崎歴：親子三代に亘って川崎に居住、在住71年
趣味：銀塩写真、アマチュア無線、犬と散歩
コロナ禍の生活：町内の活動が軒並み中止となり、人ととの交流が激減した
コロナ情報を正しく知る人が少ないと感じる

鈴木 薫(55歳)
職業：看護師
川崎歴：結婚を機に川崎に居住、在住30年
趣味：ボランティア活動、SNSで情報発信
コロナ禍の生活：病院でコロナ患者と向き合う日々。
コロナ情報を正しく知る人が少ないと感じる

新しい生活様式

コロナ禍で変わった暮らし

DXによるゆとりの時間

コロナ禍では、非接触、非対面に適応した日常が求められ、従来から進んでいたオンライン決済やテレワーク等の急増など、DXによる行動変容が加速しました。その副産物として、日常にゆとりの時間が生まれました。

ほどの人のつながりは解けかけた でも変化に適応してきた

つながる

DXで時間や場所を越えてつながることでわたしたちは**身近**になります

私たちには、
新型コロナウイルスの拡大により、
日常生活に様々な制限が課されました。
人々とのつながりを確保し、必要な情報や支援をいかに届けるかという課題に直面しましたが、
DXの浸透もあり変化に適応してきました。

災害への備えは、
特別な知識や行動が必要な訳ではありません。
日常の中で、人と人がつながり
相手を理解して一緒に取り組むことが最大の備えとなります。

つながる方法は様々です。
勇気を出して一歩踏み出してみませんか？

それが、『災害に強いまち川崎』になる近道です

Webに地域の集まりがあったら参加する
仕事が不規則でも、Webだと好きな時につながれるし、気軽に色々な人が参加できるわね

DXで何ができるの?
人のつながりは、実際に顔を合わせることが基本だと思うけど、世の中、DXが大事だと言う。DXで何ができるのか誰か教えてほしい

PCやWeb、SNSのことなら何でも教えるよ!
DXを専門として仕事をしています。DXのことで知りたいことがあれば教えることができます

生まれたときからITが日常にあるよ!
ITを使う、若者だけでなく、様々な人や情報について、時間や場所を越えてつながることができるように、地域に寄り添った新しい活動も生まれる気がするわ

私の活動はWebやSNSで公開しているわ!
WebやSNSでつながることができれば、様々な活動が連携して、より地域に寄り添った新しい活動も生まれる気がするわ

地域のことを教えて下さい
DXの浸透により、様々なことができるようになったけれど、日常の中で地域の人や自然、歴史などを実際に知りたくなりました。誰か地域のこと教えて下さい

実際に見て・触れて・感じてつながることでわたしたちの**地域**になります

行動力なら自信あり!
地域の役に立ちたい!

地域のことなら何でも知ってるよ
親子三代にわたる居住歴は、地域の誰にも負けないよ。どこよりも詳しく深い地域の話を教えてあげるよ。まずは、地域の集まりにおいて！